

石狩川滝川地区水害タイムライン検討会(第7回)

平成28年8月に策定したタイムライン試行版について、策定直後に発生した一連の台風で初めて実運用した各機関の試行対応状況を基に、改善に向けた意見交換を行うため「石狩川滝川地区水害タイムライン検討会(第7回)」を以下の通り開催しました。

- 開催日時 平成29年1月19日(木) 13:30 ~ 16:00
- 実施場所 たきかわ文化センター(滝川市)
- 参加機関 滝川市等36機関

検討会の様子

検討会には、各関係機関の防災担当者に加えて、アドバイザー、オブザーバー、一般傍聴者など総勢約100名が参加し、開会の挨拶では札幌管区気象台の西潟業務課長より「タイムライン試行版の運用をイメージしたように出来たか振り返りを行い、タイムラインを磨き上げていくことが重要である」とのお話があり、検討会がスタートしました。



札幌管区気象台
西潟業務課長

参加機関による意見交換

■平成28年8月の気象と台風被害について

まず、札幌管区気象台の山下気象防災情報調整官より「H28年8月を中心とした大雨について」説明があり、続いて札幌開発建設部の秋山河川管理課長より「平成28年の台風被害について」説明がありました。



札幌管区気象台
山下気象防災情報調整官



札幌開発建設部
秋山河川管理課長

■タイムライン試行版の運用に対する意見

松尾座長の進行のもと、全体の意見交換が以下のとおりありました。

- ・「タイムラインに対応すべき項目がまとまっているので、職員の準備体制を整えることができた。」(滝川市福祉課)
- ・「防災関係課以外の職員についても、タイムラインの理解を深め、円滑な対応がとれるよう、より実践的な訓練を行っていく必要がある。」(滝川市都市計画課)
- ・「防災対策本部と密に連絡をとって円滑に対応ができた。」(消防事務組合)



滝川市福祉課
山本課長補佐

次に、情報共有についての意見交換が以下のとおりありました。

- ・「TV会議により発信する情報の受信側の理解度が確認できたのは、心強かった。」(札幌管区気象台)
- ・「災害時には、滝川市以外の地域も含め多くの情報が寄せられるため、把握できない情報もあった。」(空知総合振興局滝川出張所)
- ・「同じような情報は整理して配信することも重要である。」(黒木アドバイザー)



滝川地区広域消防事務組合
中井署長

今後の取り組みについて

松尾座長から「タイムラインは振り返りを行い、改善をすることにより充実を図ることが重要」との助言がありました。続いて、幸町第4区地区防災会の東藤氏より、町内会レベルで独自に作成したタイムラインについて説明がありました。

最後に、札幌開発建設部滝川河川事務所の仙石所長より閉会の挨拶があり、閉会となりました。



松尾座長



幸町第4区地区防災会
東藤会長



滝川河川事務所
仙石所長